

ふね遺産 第1回 応募案件－21

「ふね遺産」(応募様式) : A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

2016年12月10日提出 氏名(個人名または団体の代表者名) : 安東 潤  
 所属(個人は住所) : 九州大学大学院工学研究院海洋システム工学部門  
 メールアドレス : ando@nams.kyushu-u.ac.jp  
 その他の連絡先 :

	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡洋戦艦「霧島」精密模型(縮尺 1/96)</li> <li>・九州大学工学部船舶海洋システム工学教室</li> </ul>	
2. 対象物の作成・存在時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成時期は不詳であるが、野中季雄海軍造船中将が1924年(大正13)1月に九州帝国大学教授に着任された際に海軍より贈られたもの。</li> <li>・以降今日まで九州大学工学部船舶海洋システム工学教室に所蔵されている。</li> </ul>	本艦建造直後に制作された模型と考えられる。
3. 現状 (写真添付)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡洋戦艦霧島(三菱長崎建造、常備排水量 27,500 トン、蒸気タービン出力 64,000 馬力、27.5 ノット 356mm 連装砲塔 4 基、起工 1912 年、進水 1913 年、竣工 1915 年)</li> <li>・野中季雄教授は海軍時代に英国で戦艦金剛の建造監督を務め、帰国後は榛名を含めて本艦の建造監督も務めた。</li> </ul>
4. ふね遺産認定基準の該当項目	<p>【認定対象】 (4)</p> <p>【認定基準】 (3), (4), (5), (8), (11), (12)</p>	
5. 歴史的・工学技術的意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界最大で高出力蒸気蒸気タービン搭載の突出した性能の巡洋戦艦ライオン起工のニュースを知ると、それまでの建艦計画を変更して最新技術導入のため、図面一切の譲渡と海軍並びに指定する民間造船所技術者の工場内立ち入りを条件に巡洋戦艦金剛を英国に発注した。これと雁行して横須賀海軍工廠で同型艦比叡、川崎神戸で榛名、三菱長崎で霧島を建造した。</li> <li>・これによりわが国の造艦技術が川崎・神戸・三菱長崎を含めて飛躍的に発展し、主力艦 4 隻同時建造体制が整った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡洋戦艦ライオン(常備排水量 26,270 トン、蒸気タービン出力 70,000 馬力、27.0 ノット、343mm 4 連装砲塔基、起工 1909 年、進水 1910 年、竣工 1912 年)</li> <li>・巡洋戦艦金剛(ヴィッカーズ社建造、常備排水量 27,500 トン、蒸気タービン出力 64,000 馬力、27.5 ノット 356mm 連装砲塔 4 基、起工 1911 年、進水 1912 年、竣工 1913 年)</li> </ul>
6. 参考資料・文献 (本表に収まらない場合は別途添付する)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福井静夫 日本戦艦物語[I] 光人社 1992</li> <li>2. 戦艦金剛 Wikipedia web</li> <li>3. 本山聡毅 語られざる海軍造船官の記憶－九州帝国大学教授野中季雄について－エネルギー史研究第 22 巻所収 九州大学 2007</li> </ol>	・巡洋戦艦金剛級は大正末期からの第 1 次改装により巡洋戦艦から戦艦に類別される。